

北海道浮魚ニュース

平成 14(2002)年度 8 号 (通巻 No.128)

2002 年 7 月 16 日

北海道立水産試験場

太平洋イカ長期漁況予報発表される

7 月 15 日に平成 14 年度第 1 回太平洋イカ長期漁海況予報文が水産庁より発表されました。

今後の見通し (2002 年 7 ~ 9 月)

対象魚種：スルメイカ

予測海域：常磐以北太平洋海域

対象漁業：いか釣り、底曳き、定置網

対象魚群：冬季発生系群 (2002 年級群)

魚体の大きさは外套長で表示

1. 常磐～三陸海域 (いか釣り、底曳き、定置網)

(1) 来遊量：2001 年並みか、やや下回る。

(2) 漁期・漁場：期間を通じて漁場となる。

(3) 魚体：8 月は 19 ~ 22cm が主体。

2. 大畑～道南海域 (いか釣り、定置網)

(1) 来遊量：2001 年を下回る。

(2) 漁期・漁場：期間を通じて漁場となる。

(3) 魚体：8 月は 19 ~ 22cm が主体。

3. 道東～根室海峡周辺海域 (いか釣り、定置網)

(1) 来遊量：2001 年を下回る。

(2) 漁期・漁場：道東海域の漁場形成は 8 月以降で、前年よりも遅れる。
根室海峡周辺海域は 9 月以降になる。

(3) 魚体：8 月は 20 ~ 22cm が主体。

今期 (9 月まで) の太平洋におけるスルメイカは、道南・道東共に好漁は期待できそうにありません。魚体は道南・道東共に昨年より小型になりそうです。

羅臼では、漁期は 9 月から始まりますが、漁期のピークは 10 月以降で昨年よりも遅くなりそうです。

10 月以降の漁況予報については、9 月中旬に発表されます。

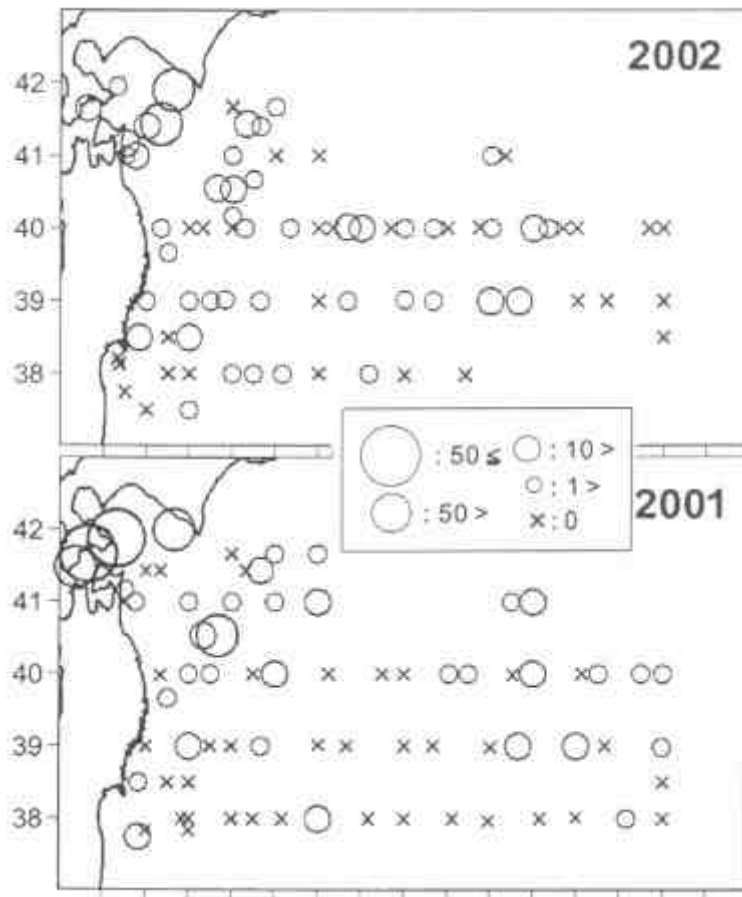


図1 漁場一斉調査におけるスルメイカの分布状況
単位 CPUE 《釣り機 1 台 1 時間あたり漁獲尾数》

表1 本邦太平洋でのスルメイカ漁獲量（7～9月）
（釣り・定置・底曳き・巻き網、生鮮、トン）

年	常磐・三陸	大畑・道南	道東・羅臼	合計
1991	7,957	8,201	16,631	32,788
1992	20,536	20,932	9,858	51,325
1993	16,241	20,196	2,612	39,049
1994	24,646	20,348	5,064	50,058
1995	34,334	14,941	3,463	52,738
1996	73,062	30,662	11,441	115,165
1997	28,831	29,081	4,031	61,942
1998	9,750	6,846	2,723	19,319
1999	23,730	10,912	963	35,604
2000	37,481	11,845	7,125	56,451
2001	23,955	14,183	5,414	43,553

図・表は、平成14年度 第1回太平洋イカ長期漁海況予報会議資料（独立行政法人水産総合研究センター北海道区水産研究所）より。

（文責：釧路水産試験場 資源管理部、TEL:0154-23-6222、FAX:0154-23-6225）